

至徳

射水市立金山小学校
学校だより

令和元年 7月 22日

No. 15



有意義な夏休みを！

いよいよ子供たちにとって、楽しい夏休みが始まります。4月以来お子様の健やかな成長を支え、本校の教育にご協力くださりありがとうございました。

夏休みは、子供たちの生活の場が学校から家庭に移り自由な時間が増えます。ぜひ、家族と一緒に、夏休みだからこそでできる豊かな体験をたくさんしてほしいと思います。

以前、聞いた話を紹介します。終業式でも話をするつもりです。新井白石の「一粒の米」という話です。もうご存知の方もおられるかもしれません。

白石が子供のころ、お父さんが一粒の米を見せ、話したそうです。

この一粒の米を大きな米びつの中からも取ったかどうかは分からないが、毎日一粒ずつ取ったら少なくなったことが分かる。

同じように、一粒入れても増えたかどうか分からないが、毎日一粒ずつでも入れ続けると増えたことがはっきり分かるようになる。

これと同じことがおまえの勉強にも言える。今日勉強しないからといって分からなくなるものではない。反対に、今日勉強したからといってすぐ偉くなるわけでもない。しかし、毎日勉強しなかったら、毎日勉強を続けた人と差がついてしまうのだ。

夏休みの期間は40日ほどですが、夏休みの過ごし方も同様ではないかと思います。「家の手伝いを継続する。朝起きる時間を決め規則正しい生活を送る。むずむずノートを毎日する」など続けられるものを見つけて、この夏休み中に継続できれば必ず得るものがあると思います。しかし、続けることはとても難しいことです。それを応援する大人はもっと大変かもしれませんが、努力したり、チャレンジしたりしている姿など小さな成長でも認めて励まし応援していただけたらと思います。

夏休みの経験が、2学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますことを願っています。ご協力をお願いします。

○ 民生委員児童委員・主任児童委員との懇談会【7月12日（金）】

民生委員児童委員の金山肇さん、金山秀彰さん、水上芳子さん、西田康子さん、主任児童委員の稲垣節子さんに参加していただき懇談会を行いました。

まず学校から、本年度の学校運営や1学期の各学年の子供たちの様子について説明した後、地域での子供たちの様子等について意見を交換しました。

本校は、担任と子供たちとの距離が近く、一人一人に丁寧に関わり、保護者や地域の方々とも協力し合い密接な関係で教育活動を行う努力をすすめています。しかし、学校で見せる顔と家や地域で見せる顔が違っていることもあります。どちらの子供も本当の姿だと思います。子供たちの健やかな育成を図るため、いただいた意見を参考に、これからもよりよい教育に努めていきたいと思っています。



○ 枝豆をたくさん収穫しました【7月17日（水）】

1～3年生は、5月に畑の先生と一緒に植えた枝豆を収穫しました。子供たちは、これまでに水をやったり、畑の草を取ったりして大切に育ててきました。それから約2か月経ってからの収穫です。一生懸命にお世話をしたことで、枝豆を箕いっぱい収穫することができました。家に収穫した枝豆の一部を持ち帰りました。話をしながら、楽しそうに一緒に食べている姿が目に見えます。

また、1～3年生が収穫した枝豆は、翌日給食室で茹でていただきました。実がしっかり入っていて、全校でおいしく食べました。



○ ストップ温暖化！【7月19日（金）】

4年生は、「とやま環境チャレンジ10」に取り組んでいます。以前の至徳でもお知らせしましたが、先日も県地球温暖化防止推進員の竹越先生に来ていただき温暖化の原因や温暖化による変化について学習し、学んだことを全校に発信したいと様々な取組を行ってきました。今日は、その一つとして、全校に劇等を通して発信してくれました。見ていた子供たちからは「恥ずかしながら、頑張っていてよかった。冷蔵庫のドアの開けっ放しが地球温暖化に繋がることが分かり、生活に生かしていきたい」などの感想をもらいました。夏休みに入ります。全員が、自分にできる温暖化防止に取り組む地球にも優しい金山っ子を目指したいです。



○ エアコン設置完了

春休みから始まったエアコンの設置工事が終了しました。19日には、試運転をしました。子供たちからは「涼しい」「気持ちいい」という声が聞かれました。今学期は残りわずかですが、2学期に入ってから暑くなる日になると思います。これからは快適な環境の中で学習を進められそうです。

